

KOMEHYO GROUP

2020年3月期第1四半期 決算補足説明資料

2019年8月13日(火)

株式会社コメ兵

証券コード:2780(東証・名証二部)

経営企画部 IR戦略グループ

TEL(052)249-5366

2020.3-1Q 決算サマリー

KOMEHYO GROUP

【業績ハイライト】

連結売上高 前年同期比110.4%

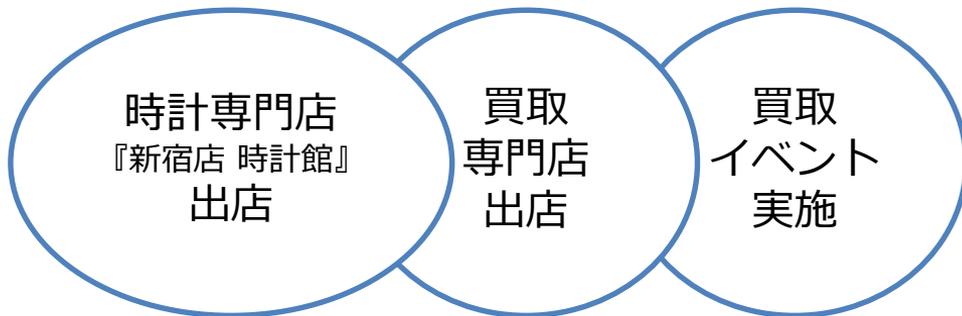
単体個人買取額 前年同期比116.9%

共に順調に進捗

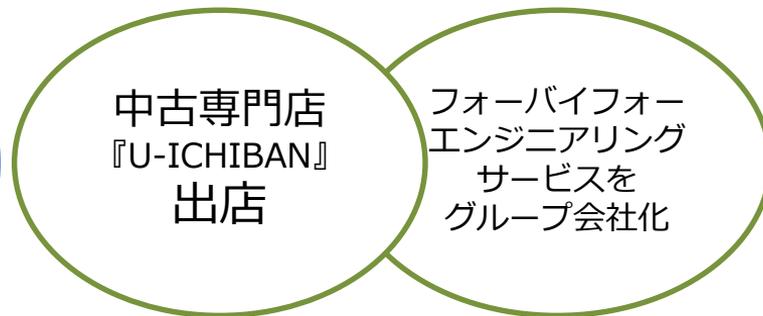
※参考 通期連結売上高計画 前年比110.7%

【業績トピックス】

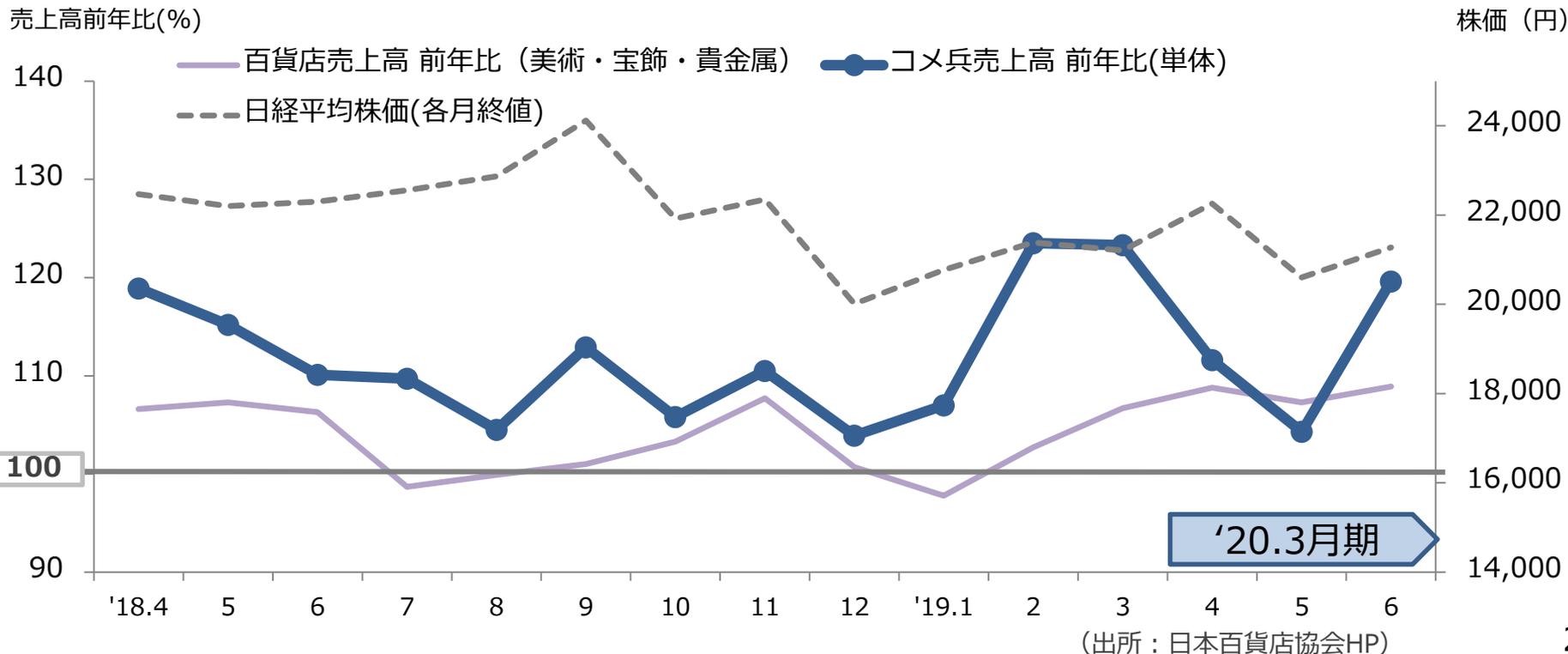
ブランド・ファッション事業



タイヤ・ホイール事業



経済環境は緩やかな回復基調



損益計算書概要(連結)

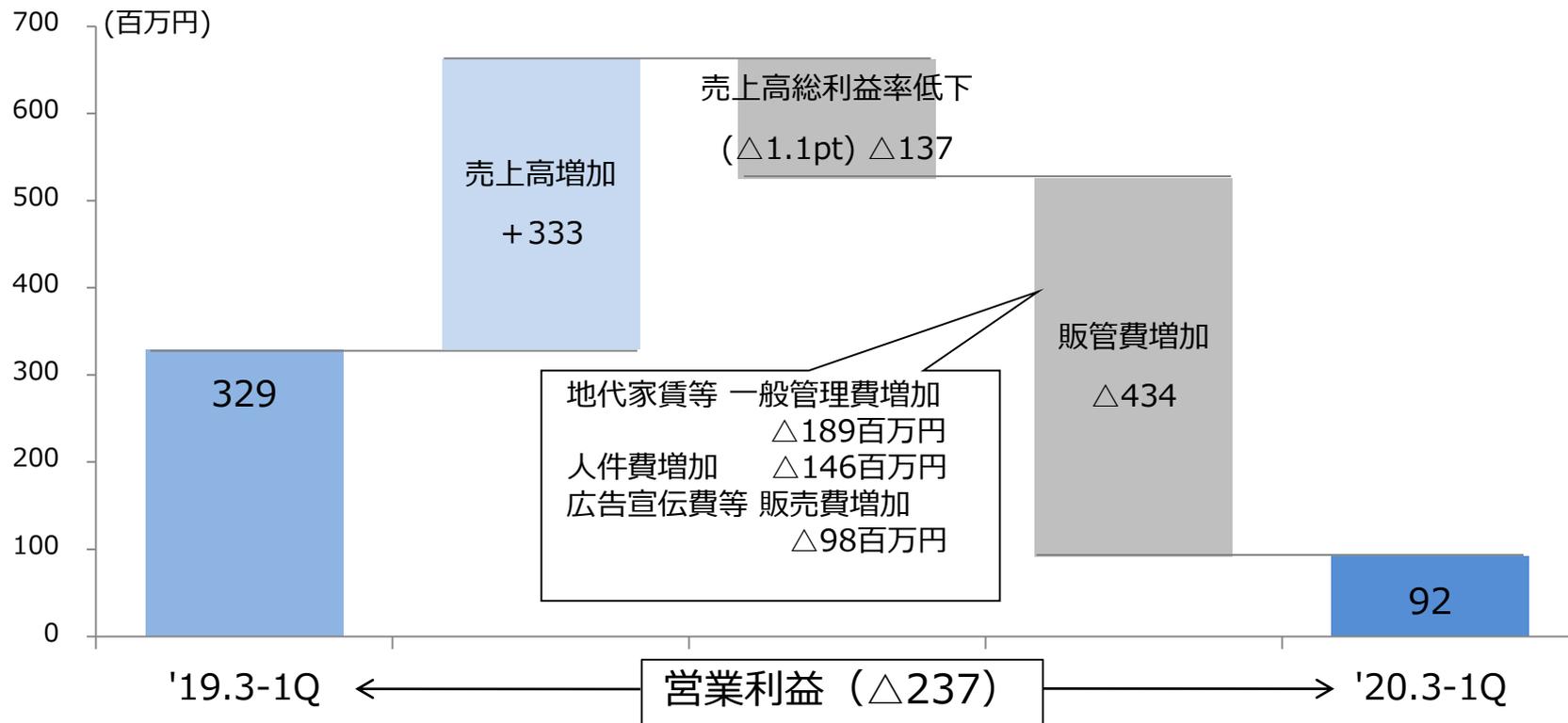
KOMEHYO GROUP

(百万円)	'18.3-1Q	'19.3-1Q	'20.3-1Q	増 減	前年同期比
売上高	9,849	11,271	12,439	+1,167	110.4%
売上総利益	2,940	3,224	3,421	+196	106.1%
売上高総利益率	29.9%	28.6%	27.5%	△1.1pt	—
販管費	2,767	2,894	3,328	+434	115.0%
営業利益	173	329	92	△237	28.1%
経常利益	185	326	81	△244	25.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	100	211	49	△161	23.6%

営業利益 増減要因(連結)

KOMEHYO GROUP

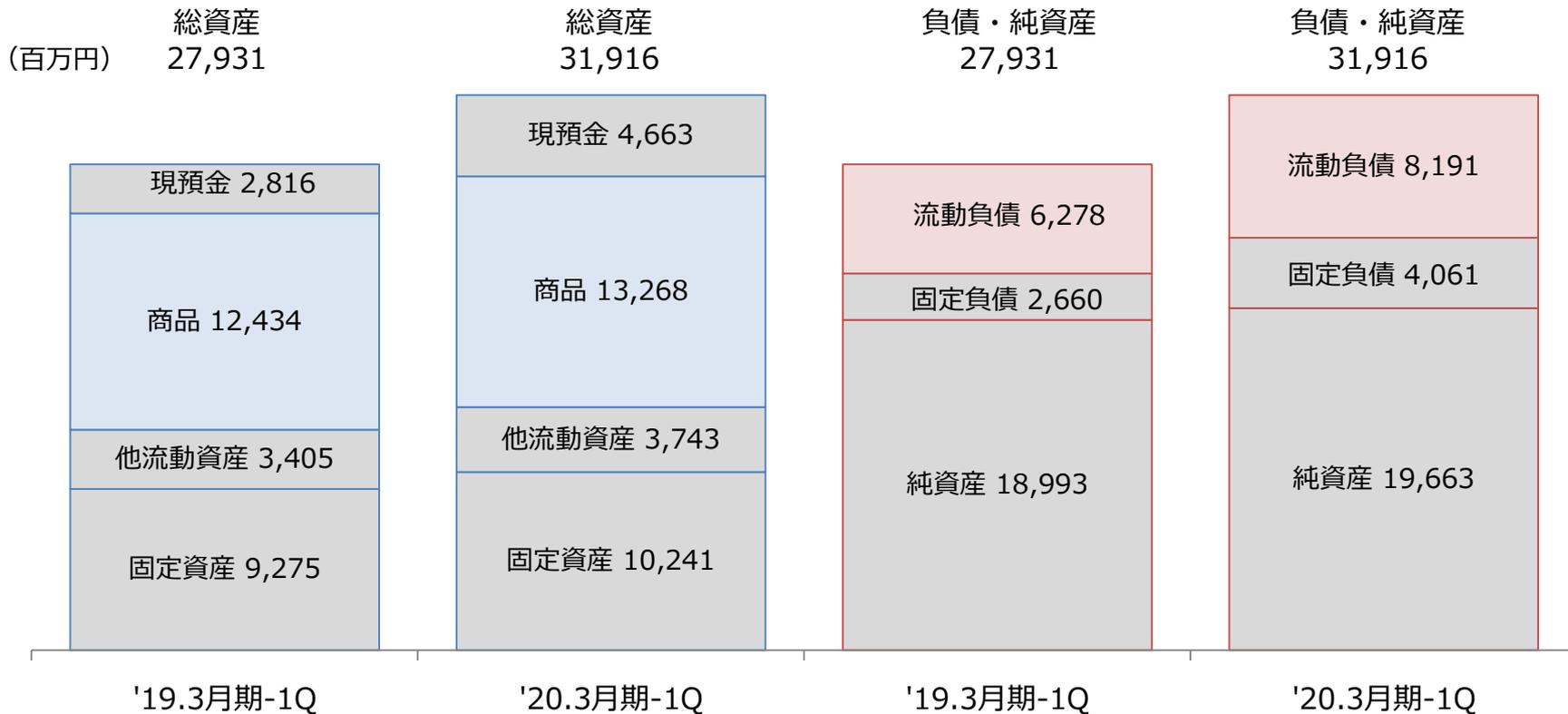
地代家賃、人件費等の経費増加により減益



貸借対照表(連結)

KOMEHYO GROUP

出店やシエルマンのグループ会社化等により総資産増加



セグメント別 売上高・営業利益 KOMEHYO GROUP

(百万円)		'18.3-1Q	'19.3-1Q	'20.3-1Q	増 減	前年同期比
フ ァ ン ド ・ ソ ン	売上高	8,827	10,374	11,701	1,326	112.8%
	営業利益	157	343	184	△158	53.8%
	営業利益率	1.8%	3.3%	1.6%	△1.7Pt	—
タ イ ヤ ・ ル	売上高	997	879	716	△162	81.5%
	営業利益	1	△23	△95	△72	—
	営業利益率	0.1%	△2.7%	△13.4%	△10.7pt	—
そ の 他	売上高	38	31	24	△7	77.5%
	営業利益	15	10	3	△6	37.6%
	営業利益率	39.4%	32.0%	15.5%	△16.5pt	—

買取イベント等により個人買取額が好調に推移

個人買取額 (百万円)	'18.3-1Q	'19.3-1Q	'20.3-1Q	増減	前期比
買取センター (買取イベント含む)	4,359	4,949	5,818	+868	117.6%
宅配買取	210	248	260	+11	104.7%
合計	4,570	5,198	6,078	+880	116.9%



1.KAITORI GO

専門部署を立ち上げ、百貨店等
他社との提携・イベントに注力

2.買取専門店を出店

【コメダ珈琲店横浜江田店さまでの買取イベント】

ブランド・ファッション事業 イベント KOMEHYO GROUP

古物法改正により「お客様のいつもの場所」に出向き、リユースを身近に

主なイベント提携先	期間
コメダ珈琲店横浜江田店さま	'19.05.09~05.21
ジャガー・ランドローバー天白さま	'19.05.23~05.25
mozoワンダーシティさま	'19.05.25~06.09
らくだ書店本店さま	'19.06.14~06.30
丸広百貨店川越店さま	'19.07.17~07.30
タカシマヤゲートタワーモールさま	'19.07.17~08.19



【らくだ書店本店さまでの買取イベント】

関東エリアに大型時計専門店※、買取専門店を出店

【KOMEHYO新宿店 時計館 '19.4】



【買取センター新小岩南口 '19.5】



【買取センター学芸大学西口 '19.7】

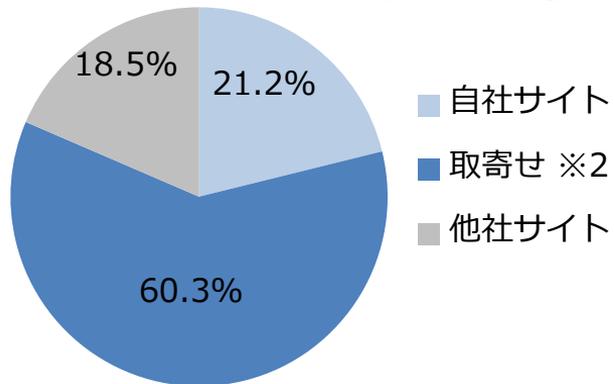


※新宿店より時計売場を移転
新宿店旧時計売場は宝石売場に転換

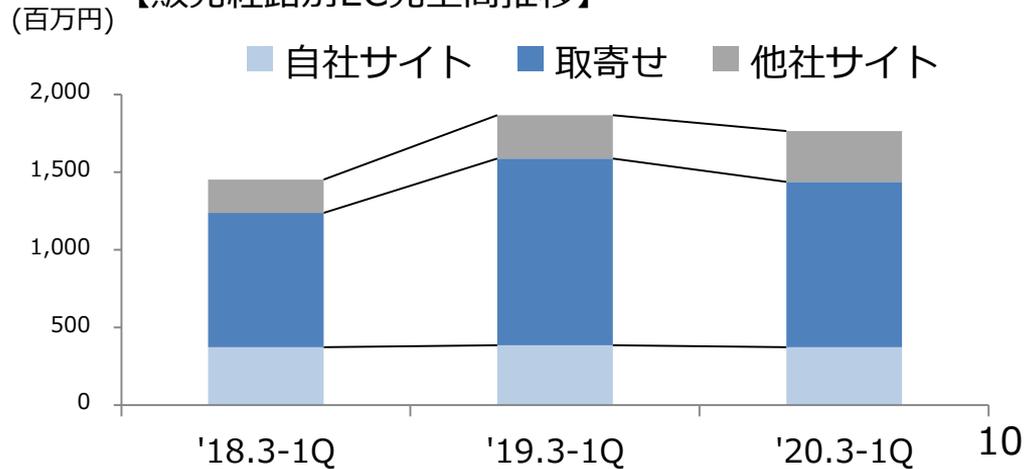
売上減も、衣料等の取り扱い強化により販売点数増加

(百万円)	'18.3-1Q	'19.3-1Q	'20.3-1Q	売上高 前年同期比	販売点数 前年同期比
EC関与売上高	1,453	1,866	1,765	94.6%	108.3%
EC関与率(※1)	24.4%	28.5%	27.3%	-	-

【販売経路別EC売上高の割合('20.3-1Q)】



【販売経路別EC売上高推移】



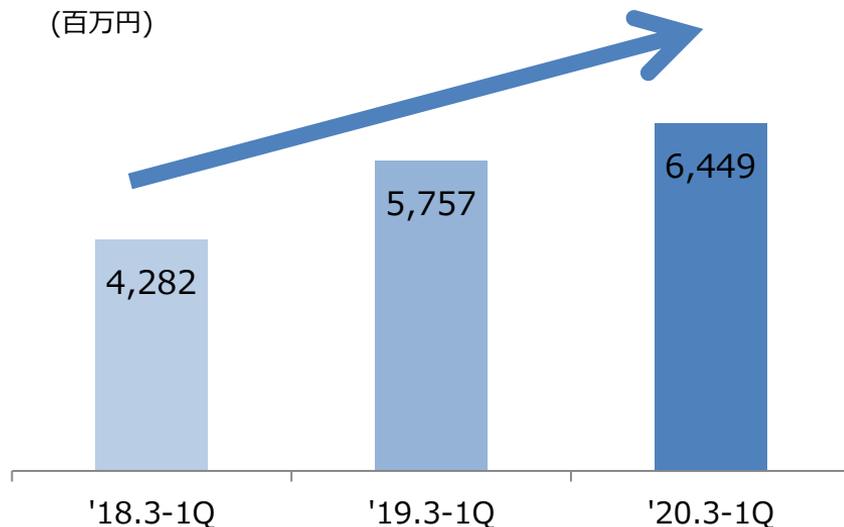
※1 小売売上高に占めるEC関与売上高の割合
 ※2 WEB内でお客様自身が取り寄せ店舗を指定する

国内法人向けオークション 出来高拡大基調

	出来高	前期比	会員企業数
'20.3-1Q	6,449百万円	112.0%	965社 ※前年同期比100社増加

【国内法人向けオークション出来高の推移】

(百万円)



【オークションを月2回開催】



タイヤ・ホイール事業 出店

KOMEHYO GROUP

収益力の高い中古専門店「U-ICHIBAN」を出店

【大宮バイパス店 '19.4クラフトから転換】



【豊橋店 '19.5 クラフトから転換】



【四日市店 '19.5 クラフトから転換】



【岡崎店 '19.6 新規出店】



2020年3月期 計画進捗率(連結)

KOMEHYO GROUP

売上高は堅調に推移

(百万円)	上期計画	前年同期比	1Q進捗率	通期計画	前期比
売上高	27,000	115.8%	46.1%	56,400	110.7%
営業利益	458	93.5%	20.2%	1,329	71.4%
経常利益	427	85.7%	19.1%	1,261	69.0%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	243	75.6%	20.5%	727	72.0%

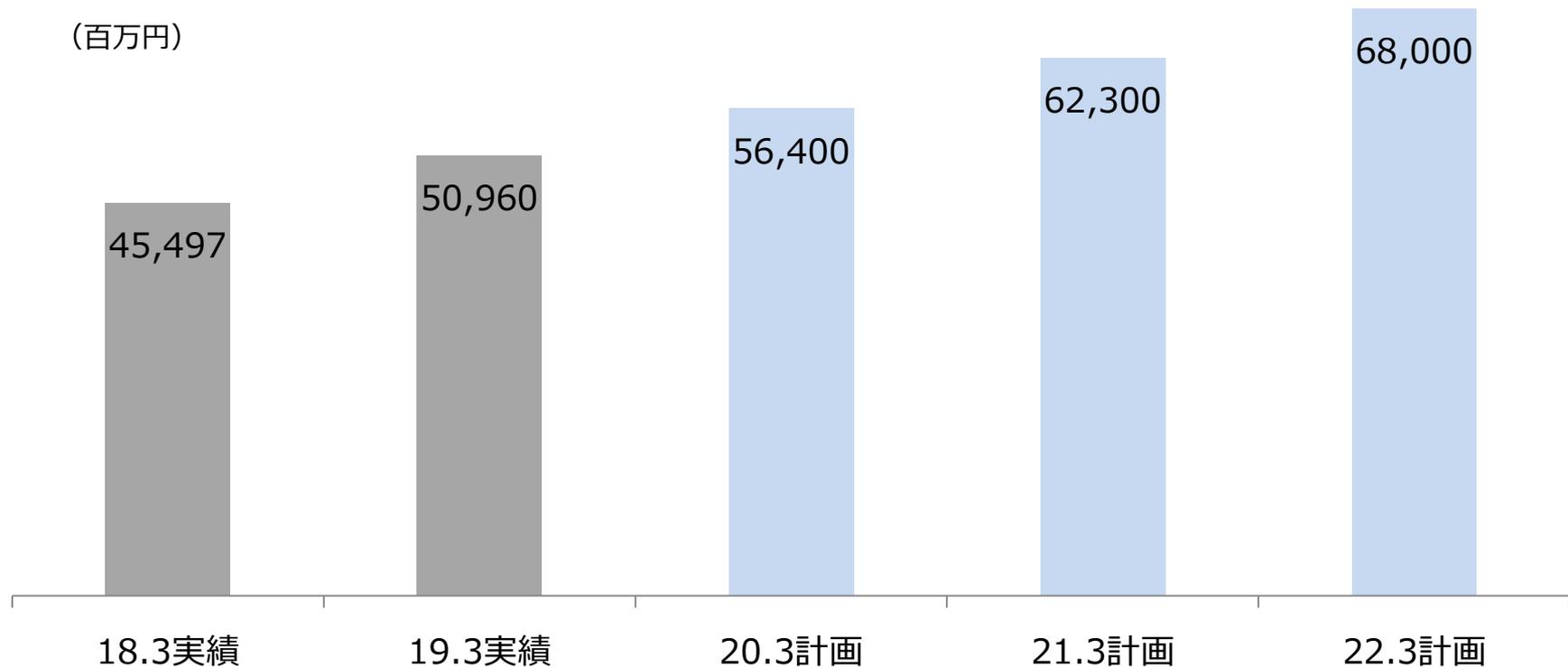
※「KOMEHYO新宿店 時計館」出店による地代家賃、業容拡大に伴う人件費等のコスト増加により上期・通期計画は減益の見込み 13

売上高計画(連結)

KOMEHYO GROUP

2022年3月期に連結680億円目標

(百万円)

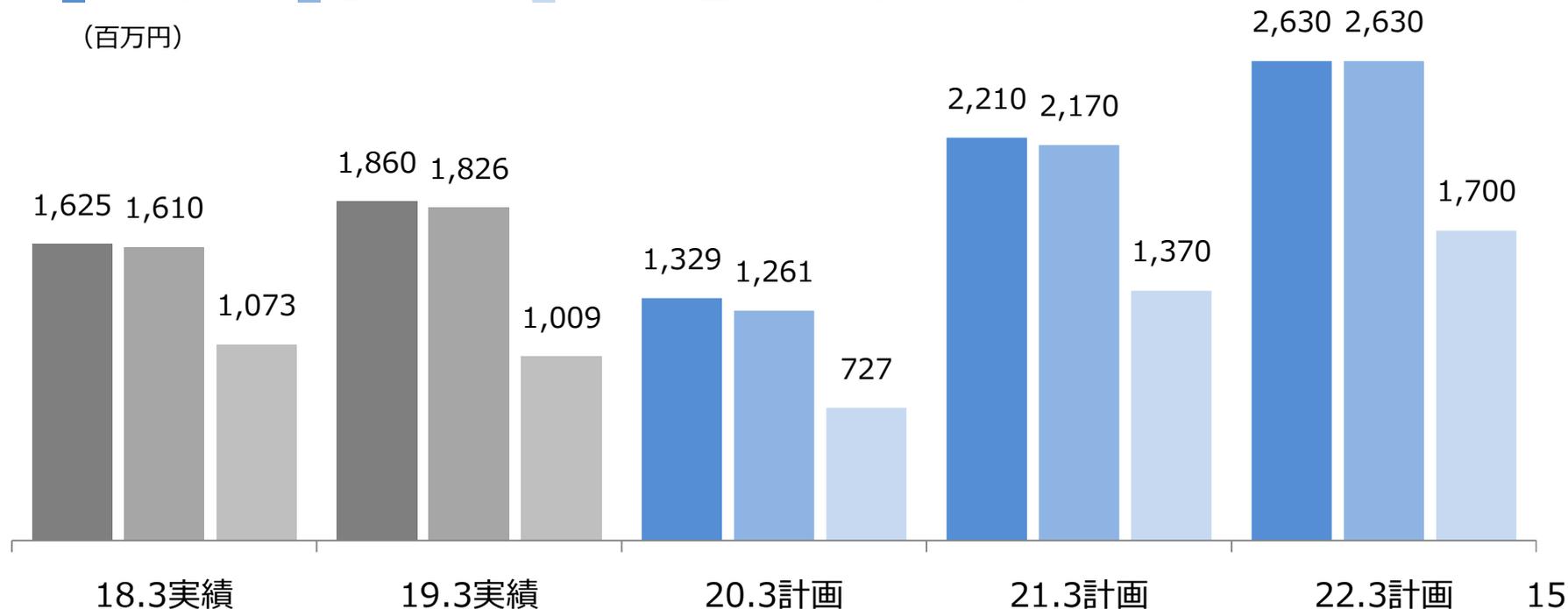


利益計画(連結)

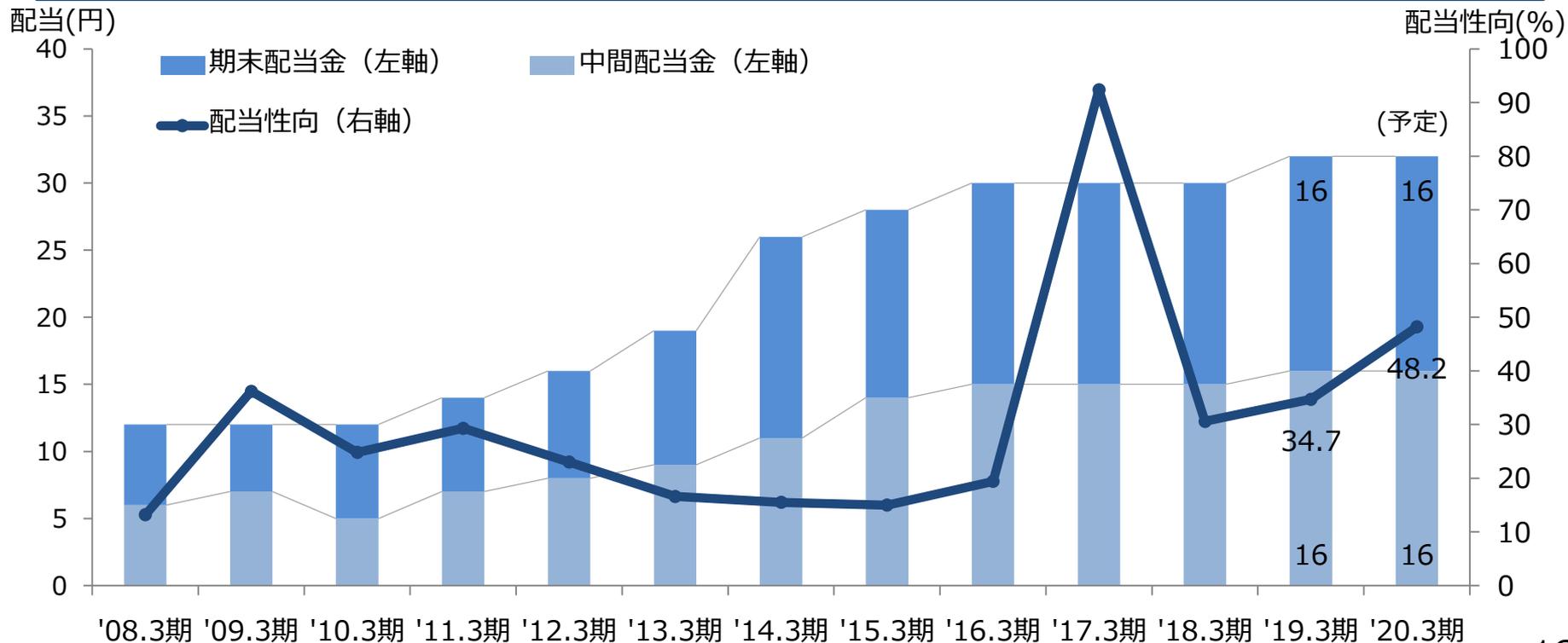
KOMEHYO GROUP

戦略的な投資により中長期的な成長を目指す

■ 営業利益 ■ 経常利益 ■ 親会社株主に帰属する当期純利益
(百万円)



配当推移



会社概要

KOMEHYO GROUP

社名	株式会社 コメ兵
設立	1979（昭和54）年5月
本社	名古屋市中区大須3丁目25番31号
代表者	代表取締役社長 石原 卓児
資本金	1,803百万円
社員数	連結：689名（'19.3現在）
事業内容	中古品及び新品の宝石・貴金属、時計、バッグ、衣料、きもの、カメラ、楽器等の仕入・販売及び不動産賃貸
決算期	3月
株式	東証・名証二部（証券コード:2780 単元:100株）

店舗形態(単体)

KOMEHYO GROUP



28店舗

大型店 (約300坪～)

名古屋本店、名駅店、銀座店、梅田店、
新宿店(新宿ANNEX・新宿店時計館含む)

販売・買取

宝石・貴金属、時計、バッグ、
衣料 等

5店舗

中型店 (約100～200坪)

大規模主要都市へ出店

販売・買取

3店舗

小型店 (約20～30坪)

主要都市へ出店

販売・買取

8店舗

買取センター

主要都市へ出店

買取専門

12店舗



5店舗

販売・買取 ※

レディース
カジュアル衣料、
バッグ、小物 等



3店舗

販売・買取 ※

低価格帯の衣料、
バッグ、小物 等

※一部店舗は販売のみ

計36店舗 ('19.6現在)

コメ兵

ブランドリユース事業

KOMEHYO
オークション

B2Bオークション事業

KOMEHYO
HONG KONG
LIMITED

グローバル事業統括
香港B2B事業

イヴコーポ
レーション

アパレル並行輸入事業
スニーカー事業
シューケア事業

シエルマン

アンティーク時計
アンティーク
ジュエリー事業

クラフト

タイヤ・ホイール事業
プロショップ運営
「クラフト」

オートパーツ
ジャパン

タイヤ・ホイール事業
中古専門店運営
「U-ICHIBAN」

フォーバイフォー
エンジニアリング
サービス

タイヤ・ホイール事業
自動車部品の企画・
研究開発・製造等
('19.5グループ会社化)

NJKP

(香港)【合併会社】
ダイヤモンド
オークション

米浜上海
商貿有限公司

(中国上海)
北京への商品供給

北京華夏
高名茶
商貿有限公司

(中国北京)【合併会社】
小売店運営
「LuxStory」

SAHA
KOMEHYO
COMPANY
LIMITED

(タイ)【合併会社】

ブランド・ファッション事業

タイヤ・ホイール事業

沿革

KOMEHYO GROUP



●名古屋市中須に5坪の古着屋『米兵商店』を出店

1979

1987

1996

2000

2003

2004

2005

2011

2012

2013

2017

2018

2019

- 『株式会社コメ兵』へ社名変更
- 『株式会社米兵』を設立

●東京へ進出（買取センター道玄坂）

- 関西へ進出（心齋橋店）
- インターネット販売を開始

●有楽町店 出店

●株式公開（JASDAQ）

●東証2部、名証2部に上場

●本店に次ぐ大型店舗 新宿店 出店

●銀座店 出店

●KOMEHYO HONG KONG LIMITEDを設立

●株式会社クラフトをグループ会社化

●「商品センター」設置

●株式会社KOMEHYOオークションを設立

●梅田店、新宿店ANNEX、名駅店 出店

●株式会社イヴコーポレーションをグループ会社化

●新宿店 時計館、買取センター新小岩南口 出店

●株式会社フォーバイフォーエンジニアリングサービスをグループ会社化

- 買取センター豊田、経堂農大通り、向ヶ丘遊園駅前、星が丘テラス 出店
- 株式会社シエルマンをグループ会社化
- 中国北京に海外1号店出店
- タイに合併会社を設立

人財定着度

KOMEHYO GROUP

従業員の離職率は低く推移し、人財が定着している

